

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

祈りあい、支えあいつつ

常務理事 中田義直（所沢教会 協力牧師）



全国壮年会連合には、日頃から日本バプテスト連盟の伝道者養成を覚えて祈り、また具体的な支えをいただいていますこと、心から感謝いたします。

私は30年前に西南学院大学神学部を卒業しましたが、神学校献金による大きな支えの中で神学の学びをすることができました。当時、ある教会で壮年会の方に「学費から、生活費まで多くを支えていただいております」とお伝えしましたら、その方は「神学生時代に、自分の力で生きているのではなく、支えられて生きていることを学んでくださいね」とおっしゃってくださいました。

パウロは手紙の中で「私のために祈ってください」という言葉を記しています。私は牧師になって数年たってから、この言葉の重さに気が付きました。そして、この気づきを通して、牧師の働き

は、教会の祈りの支えがなければ担うことのできない「働き」だということを改めて確認することができました。

ところで、今年の壮年大会では、総会で奨学金規程の改訂について協議がなされ、提案が承認されました。それは、現状としっかり向かい合い、より良く神学生の学びサポートしたいという祈りと、願いに基づくものであり、課題に即した改訂が行われたと感じています。現代は変化の大きい時代です。様々な分野で過去の事例がそのまま当てはまらなくなっているようです。柔軟性と想像力が求められる時代なのでしょう。

今、連盟は4回目の大きな改革の時を歩んでいます。そして、伝道者養成の働きも見直す時を迎えているのではないのでしょうか。改革の時、それはチャンスの時でもあります。共に祈り、支えあいつつ柔軟性と想像力をもって、より良い道を求めてまいりましょう。

第12回 6・23「沖縄（命どう宝）学習ツアー」報告

美園和彦（伊集院教会）

「6・23『沖縄（命どう宝）の日』学習ツアー（女性連合主催・宣教部共催）」に、全国壮年会連合からの派遣者として参加しました。

学習ツアーの中で、岡田富美子牧師（那覇新都心キリスト教会）から、沖縄県で歌われる平和教育歌「月桃」が紹介されました。鹿児島県種子島のさとうきび農家が実家である私にとって月桃（ショウガ科ハーブ）は、6月頃にきれいな花が咲き、母が農作業を手伝う子どもたちに昼食用のおにぎりを包んでくれる香りの良い葉でしたので、私には今でも故郷を思い出させる植物です。しかし、沖縄戦の後には、「月桃の花が咲いても手に取る人もいない夏」と歌われていることに、沖縄戦が激しい戦いであったと考えさせられました。

その後、ツアーの一環で訪問した西原新生バプテスト教会寺澤牧師から、沖縄戦では20万人の戦没者がいるが、西原教会がある西原町（旧西原村）では、沖縄戦による戦没者が住民の半数に

至ったとの説明を受け、月桃の歌の内容が決して誇張ではないことを確認しました。

また、対馬丸記念館では米軍潜水艦の攻撃を受けて、学童784名を含む1,482名が犠牲となったと説明を受けました。以前祖母から、母が鹿児島県本土に疎開する時に、母の船が大隅海峡で米軍攻撃を受けないか大変心配したと聞いていたので、対馬丸の惨事は他人事とは思えないことでした。

この他、沖縄県平和祈念資料館や避難した半数以上の住民が集団自決で死亡したアブチラガマ等を見学して、戦争の悲惨さを再確認しました。今ツアーで、キリスト者としてどのように『平和』取り組んでいくべきか、考える機会となりました。





神学部での学びも4年目を迎えました。振り返れば、沢山の体験をさせていただきました。学校生活での学び、寮での交わり、研修教会での礼拝や諸活動、女性連合主催のアジアフィールド伝道、様々な神学校の学生が集う神学生交流プログラム、日本バプテスト病院での臨床牧会実習、神学校週間や夏季研修でお世話になった諸教会伝道所、それら一つ一つの出会いは、みなさまの祈りと支えによって与えられた恵みであったことを思い起こします。

先日もまた新たな出会いが与えられました。第54回全国壮年大会に参加させていただいたことです。総会においても、佐藤彰師の講演においても、プログラム内外での交わりにおいても、多くの恵みをいただきました。同室の方々は、それぞれの人生をまるごと証し

てくれました。それはまるでリレーのバトンのように、一番大切なこと「主は生きて、私の人生を導いてくださった」ことを分かち合ってくださいました。それらの証は神様への感謝であり、励ましであり、応援となりました。

私は全国壮年大会の早天祈禱会にて、マタイ14章22～33節からみ言葉を分かち合いました。イエス様が湖の上を歩いて来られ、舟の上にいるペテロを招く場面です。一番闇の深い夜明け前に、私たちの理解をはるかに超えた形でイエス様がやってきます。私たちが恐れの中にあっても、イエス様が招いてくださる。たとえ溺れても、イエス様の力強い御手がある。だからこそ、私たちに一歩を踏み出す勇気が与えられると、メッセージしました。遣わされる場所は、私には分かりません。しかし、この神学部での歩みを導いて下さった主は、確かに今も生きておられます。栄光在主。

2019年度全国壮年会連合総会【審議報告】 開催日2019年8月22日(木)

No	議 案	結果	No	議 案	結果	
1	2018年度全国壮年会連合活動報告 資料：2018年度神学校金・会費一覧(3年分実績)	承認	6	6-1 2019年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び 2020年度全国壮年会連合一般会計予算案	承認	
	6-2 2019年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び 2020年度全国壮年会連合奨学金会計予算案			承認		
	2018年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告		7	2020-2021年度全国壮年会連合会長・副会長・監査選 挙に関する件	承認	
	2018年度一般会計決算報告			8	第56回(2021年度)全国壮年大会担当地方連合の件	承認
	2018年度奨学金会計決算報告			9	2020年度 総会議長の件	承認
2	2020年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額の件	承認	10	「奨学金制度の充実」関係規程改正の件		
3	会費値上げの件	承認		10-1 奨学金規程第10条に関する規程改正案	承認	
4	2019-2020年度全国壮年会連合活動計画案	承認		10-2 奨学金規程第11条～15条に関する規程改正案	承認	
5	2019-2020年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案	承認		10-3 専ら伝道の業に従事する者に関する規程改正案	承認	
			協議	奨学金制度についての提言		

壮年会費を2020年度から2,000円に値上げします！

全国壮年会連合事務局長 豊永義典

今年の壮年大会の総会に提案された議案と審議結果は、上記の表に示す通りです。議案が承認されたことで、これまでと変更になる項目等については、大会に参加されなかった方々にもご理解を頂きたく説明を致します。なお、奨学金規程の改定に関しては、次号で詳しく説明することにします。

壮年会費の値上げ：現在壮年会費は年間一人1,500円ですが、2020年度から2,000円とします。全国壮年会連合の活動にかかる費用は現在年間約480万円ですが、収入は会費と神学校献金からの繰入れで約420万円です。これまで、経費節減と繰越金でしのいできましたが限界です。会費の値上げにご理解頂くとともに、会費納入率向上と神学校献金の推進にご協力下さい。

前項とも関連しますが、支出削減策として、会費や献金を送付していただく際の振込用紙を、2020年度からこれまでの赤色(送金先負担)から青色(送金元負担)

に変更します。振込み手数料は今年4月から値上げとなっており、これによって年間約8万円の経費節減を見込んでいます。

総会のなかで年度末の献金・会費の扱いを次年度の冒頭のある期間について未収入金として扱うことは出来ないのかとの意見がありました。9月の役員会で討議した結果、取扱いは変更せず年度内に入金を確認したものに限ることにします。

但し、今年のように年度末が土曜日曜の場合は、送金が年度内に行なわれたことが確認されたものについては未収入金として扱うこととして、該当年度には事前にお知らせすることにします。年度内の送金については、教会での送金担当者が交替した場合等に見落とされがちのようですから十分気をつけて、余裕を持って送金下さるようお願い致します。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎・fax: 048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp